



P.2-3
部活動改革
P.4
まちづくり団体活動紹介
P.5
高齢者・地域の通いの場



西川町について詳しく知りたい方、ご意見・

お問い合わせなどは、町のホームページをご覧ください。



「部活動」のカタチが変わる。 子どもたちの「やりたい!」を、 地域みんなで支える未来へ。

放課後や休日に、仲間と共に汗を流し、一つの目標に向かって突き進む活動。それは、子どもたちにとってかけがえのない学びの場です。しかし今、全国的に少子化が進み、単独の学校ではチームが組めない、専門的な指導者が不足しているといった課題に直面しています。

そこで本町では、スポーツ庁・文化庁の指針に基づき、**令和8年度から「休日の部活動」を学校から、地域が主体となる「活動」へと段階的に移行します。**

その目的は、教員の働き方改革だけではありません。子どもたちが将来にわたって、自分の好きなスポーツや文化活動に、より専門的で多様な環境で親しみ続けられるようにするため、そして、地域コミュニティの維持のための大きな一歩です。

特集:知っておきたい「地域展開」のポイント

1. 休日の活動を地域（スポーツ少年団、クラブ等）主体で行うようになります

これまで土日・祝日に行われていた部活動は、学校の管理下から離れ、地域の指導者が運営する「スポ少・地域クラブ等」としての活動に変わります。これまで部活動が母体となり出場してきた休日の冠大会（中体連・中文連主催大会以外）は、令和8年度からこれらのスポ少・地域クラブ等が母体となり出場します。

- ・休日の活動：スポ少・地域クラブ等として、専門的な指導員のもとで活動します。
- ・平日の活動：これまで通り、学校の部活動とスポ少・地域クラブ等の活動を併用して実施します。

2. 学校の垣根を超えた交流が生まれます

1つの学校だけでは人数が足りない活動も、近隣校と合同で行ったり、広域のクラブチームが生まれることで、試合に出場できる環境が整い、これまでになかった新しい仲間との出会いも期待されます。

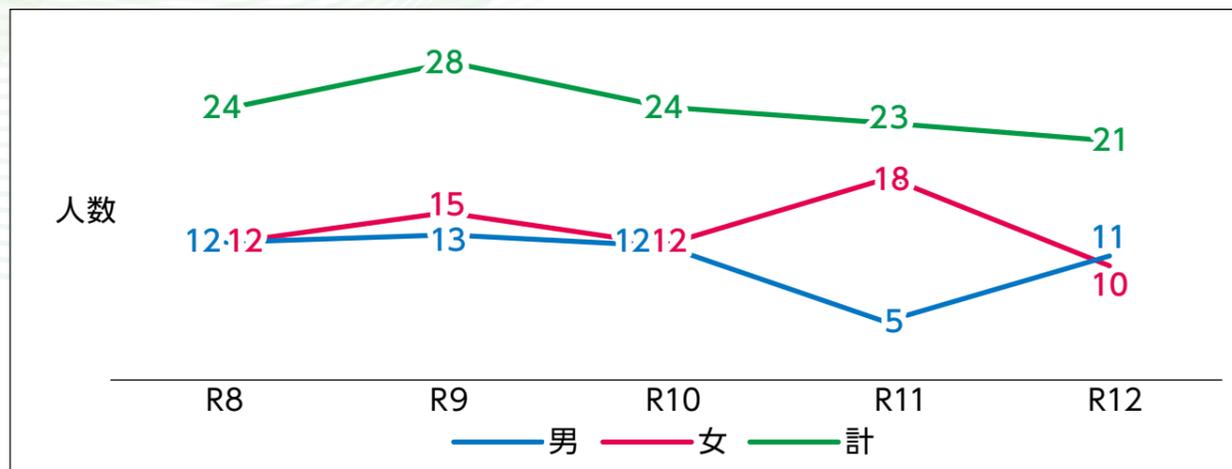
数字で見る、私たちの町の中学校の「いま」。今後も、子どもたちのやりたいことができる環境づくりを進めていきます。



1. 部活動別・所属人数（令和8年3月現在）

	野 球	男バレー	女バレー	男卓球	女卓球	男剣道	女剣道	カヌー	吹奏楽	外 部	合 計
1年	0	2	3	5	2	1	1	2	3	5	24
2年	2	2	2	2	0	0	0	1	5	8	22
計	2	4	5	7	2	1	1	3	8	13	46

2. 今後5年間の西川中学校入学予定者の推移



※今後5年間の西川中学校入学予定者は、微減の見込みです。単独でのチーム編成が困難な部活動も増えており、スポ少・地域クラブ等を核とした学校の枠を超えた仕組み作りが急務です。

※本町の中学生の休日の活動は、すでにスポーツ少年団等が主体となり実施するなど、活動の機会が保障されている種目が多くあります。町の未来を担う子どもたちのために、引き続きご協力をお願いいたします。



■ 部活動改革に関する地域展開への町の支援（令和8年度）

- ・地域展開コーディネーターの配置（1名）
- ・地域クラブ指導者謝金の支給
- ・各種大会参加料の一部負担
- ・地域クラブ新設にかかる補助金の交付
- ・上位大会（東北大会以上）出場への一部補助

※地域展開コーディネーターとは？

「地域展開コーディネーター」は、学校・保護者・地域団体・行政の4者の間に立って地域展開の調整などの実務的な役割を担います。これまで教職員が担ってきた部活動を、地域での活動に移行し、円滑に進めるための重要な役割です。

地域活動を 応援します！

町は、住民主体のまちづくり活動を支援する「まちづくり団体活動補助金」と高齢者がいきいきと健康で暮らすための活動を支援する「いきいき健幸活動補助金」(25万円を上限)を交付し、町民の皆さまの創意あふれる活動を支援しています。今月号では令和7年度の補助金採択団体をご紹介します。

まちづくり団体活動補助金

○西川アスリートランニングクラブ (代表：和賀誉)



私たちは、西川町の子供たちに「誰でも挑戦できる楽しい遊び」として陸上競技に親しんでほしいとの思いから、今年度は「ナイター競技会」「弓張平競技会」「走遊祭」を開催しました。参加者は選手・観戦を合わせて360名を超え、大盛況となりました。私たちの思いが多くの方に届いたことを嬉しく感じています。今後も継続開催に向けて取り組んでまいります。

○西川きれいにし隊 (代表：山下義一)



今年度は活動内容を見直し、「参加しやすい」「活動予定の情報発信」を工夫しました。また、新規入会者を積極的に募った事もあり新しく10名の方に入会して頂きました。今年度の活動回数は10月末迄で6回。共に活動した人数は延べ150人程でした。ご協力に心から感謝致します。ありがとうございます。これからも皆様のご協力をお願い致します。

○ASOBO-ZE (代表：上野明)



“大井沢の自然の中で遊ぶ”を応援する団体ASOBO-ZEは、11月に「小さな秋の音楽会」を開催しました。会場は多くのお客様で賑わい、自然と触れ合いながら音楽を通して大井沢の魅力をより深く感じていただけの一日となりました。これからもコンサートを継続し、地域の魅力発信につながる活動を続けていきたいと考えています。

○T・K-Friends (代表：片倉忠幸、宮林良幸)



私たち「T・K-Friends」は、高清水通り・清川道等登拝古道の地勢・史跡調査を中心に活動する有志グループです。補助金を活用し、新たな石造文化財の発掘や登山道整備にも一層注力し、古道の魅力を高める環境を整備しました。多くの登拝客を受け入れることが楽しみです。

○ままαs (代表：吉田和恵)



私たちは町の子ども達の笑顔を増やすために活動している団体です。地域の皆さまのご支援にも感謝しております。今年度は高校生と協働した「にしかわえいがまつり」や、間沢区と連携した「やくしマルシェ」を開催しました。今後も縁日やハロウィンなど子供たちの笑顔に繋がる活動をしていきたいです。

いきいき健幸活動補助金

○西川町老人クラブ連合会 (代表：後藤武志郎)



私たちは、社会活動を通じて老後の生活をより豊かにし、明るい長寿社会づくりを目指して活動しています。今年度は町の補助金を活用し「いきいき健幸コンサート」を開催し、多くの皆さまにご参加いただきました。来年度も楽しい企画を予定しております。単位老人クラブへのご入会も心よりお待ちしております。

○月山ゆずりはの会 (代表：松田りつ子)



今年度は、なんばこのラベルを「生産者の顔が見えるデザイン」に刷新し、道の駅にしかわでお披露目を開催しました。当日は町内外の関係者にご参加いただき、新ラベルは大変好評です。アンテナショップや各種イベントでのPRにも取り組んでいます。13年目の今年も、町の発展に貢献できるよう活動を続けてまいります。

○大井沢つむぎの会 (代表：吉野威子)



文化を“紡ぎ”野草を“摘む”大井沢つむぎの会です。今年度はTRAS、大井沢でのイベントでどくだみ茶などの野草茶試飲会を開催。ティーバッグ包装と手に取りやすいパッケージで誰でも親しんでもらえる野草茶を目指し日々活動中です。来年度は数種類の野草でオリジナルブレンド茶のワークショップを予定しています。

○西川町ゲートボール協会 (代表：渋谷雄三郎)



今年度も町内で6大会を開催し、上位大会にも参加して練習成果を発揮しました。補助金は備品整備や運営に活用し、今年はゼッケンを新調。ゲートボールは1日約3,000歩歩く健康的なスポーツで、心身のリフレッシュにも最適です。年齢問わず楽しめますので、皆さんも一緒にプレーしてみませんか。

【お問合せ】 つなぐ課 町民つなぐ係 ☎ 0237-74-2112

みんなでつくろう！高齢者・地域の通いの場 ミニデイ・いきいきお茶のみ会（高齢者サロン）

「長く健康で過ごしたい」「住み慣れた地域で安心して暮らしたい」その思いを実現するための通いの場である「ミニデイ」と「いきいきお茶のみ会（高齢者サロン）」の活動は年々活発になっており、その輪はどんどん広がってきています！通いの場をきっかけに男女・世代を超えた交流の輪も広がっていくと、顔なじみが増え、より一層安心して生活できる地域になっていきます。若い世代の方もぜひご参加ください！自分自身が将来参加したいと思えるような通いの場を一緒につくっていきましょう！

「ミニデイ」「いきいきお茶のみ会」の効果



- 健康づくり・介護予防
- 認知症の予防
- 安否確認・体調確認



いきいきお茶のみ会は町内7か所で活動中！

いきいきお茶のみ会は、町民が主体となり、週1回以上開催する町民の集いの場「通いの場（高齢者サロン）」です。2月24日に開催した代表者会議では、参加者を増やすための工夫が各団体より語られました。特に今年度は団体同士の交流が活発に行われたことで、活動に新鮮さが加わりました。

ミニデイは26地区中25地区で開催！ 来年度は全地区で開催予定です！

今年度は各区・町内会計25地区で延べ126回、延べ2,622人が参加しました。(2月末時点) 2月13日に開催した代表者会議では、ミニデイの効果について共有と確認を行いました。各地区で特色あるミニデイが開催され、今年度は内容・参加ともに充実した活動となりました。

入間のミニデイといきいきお茶のみ会（サロンdeいりまる）代表者にお聞きしました！

ミニデイとお茶のみ会は誰でも参加できることが魅力です。人と話したい方が集まり、四世代で参加している家族もいて、心地よい通いの場です。興味が湧く企画を考え、気軽に参加できるミニデイ、お茶のみ会にしていきたいです。楽しみに参加してくれる方がいるため、運営側はやりがいも感じています。

100歳体操は地区の方が集まるきっかけとして始めて1年3ヶ月ほど経ちます。足の運びがスムーズになったと好評の声もあります。また、保健センター職員による体力測定を3ヶ月に1回を行っており、日頃の成果を見ることでモチベーションも高まっています。



ミニデイ代表：渋谷浩さん お茶のみ会代表：佐藤傳一さん

認知症サポーター養成講座で得た知識のおかげで、認知症の方も安心して参加できる通いの場になってきています。「私も認知症になったのよ」と言い合える通いの場にしていきたいです。認知症について知ることは今後の自分にも役立つため町民の皆さんにおすすめる講座です。

【お問合せ】 健康福祉課 地域包括支援センター係 ☎ 0237-74-4405



菅野大志の

「いどばた会議」

vol.43

まちづくりに関する活動や近況などを
西川町長・菅野大志が綴ります。

今月の大ニュース!

集大成として「わが町を美しいまま未来に残す」
ための取組をまとめました。

ご登録をお願いします!



▲町公式LINE

1. お詫びと今後の町の人口 (2050年には2,000人を割り込む予想)

ハラスメントの報告書のとりまとめに時間と貴重な予算を使わせていただき調査を取りまとめて頂いたことに敬意を表します。また、私の言動によって関係者の皆様に不快な思いや精神的な痛みを与えてしまったことに対し、心から深くお詫びを申し上げます。町民の皆様にはご心配をおかけし、大変申し訳ありません。

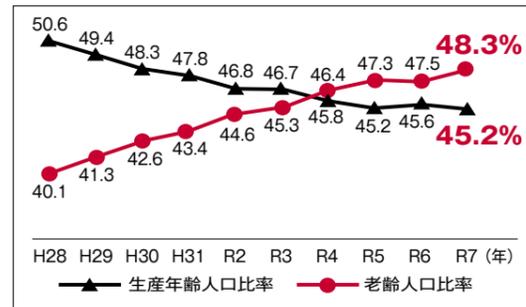
さて、人口推計によれば、わが町の人口は2026年の4,300人から、2050年には2,000人へと半減します。人口2,000人規模の町とは、病院や交通機関、量販店もなく、ガソリンスタンドとコンビニが1軒あるかないかという状態です。これが今、町に突きつけられた現実です。

2. 曇り空に、4年で差し込んだ一筋の光

(1) 15歳～65歳の働き手を指す「生産年齢人口比率」は、これまで毎年1%ずつ減少していましたが、この4年間は微減(R4年45.8%→R7年45.2%。▲0.6%)に留まっています。

(2) 町の事業を拡大できる財源の確保

当初予算は、令和4年度56億円から令和7年度は過去最大90億円に編成。町民の皆さまの困りごと解決や、子どもたちの未来、安全で楽しい地域への投資が可能となったのは、職員の不断の努力の賜物です。「地方創生交付金」や10億円に達する「ふるさと納税」への挑戦が実を結びました。



▲生産年齢人口比率と高齢人口比率

3. 光が差し込んだ要因は3つ「すっだいこと実現」「対話」「挑戦」

(1) 「すっだいことを実現する町」という政策の推進

「すっだいこと(やりたいこと)」を叶えるためには、伴走する人、資金面で支える人など、互いに支え合う仕組みが欠かせません。町の中にこうした支え合いの仕組みが次々と生まれれば、「寛容性」の高い地域となります。「寛容性の高い地域は人口が増える」という民間統計のデータもあります。寛容な町民の皆様が主体となって活躍することで、人口増という「奇跡」を起こすことができます!



▲三山音頭を踊る会の皆さま

(2) 「対話」と「現場」なくして政策はつくれぬ。

皆さまが笑顔で安心して暮らすためには、行政が皆さまの声をお聞きすることは当然です。私たちが積極的に現場に足を運び、皆さまの想いを直接汲み取ることで、町民と役場との距離をぐっと縮めていきます。



(3) 常に「挑戦する自治体」であり続けること

これから西川町が歩むべき道には、2つの選択肢があります。

●案1: 2050年の人口半減を見越し、病院廃止等の歳出削減を行う

●案2: 人口減少を改善するために、もがく=チャレンジする行政

私たちは町民の皆さまの強みを活かした「西川ファン事業」や、財源確保に挑戦し続ける行政でありたいです。

4. これからの西川町に必要な取組み

(1) 人口増加に向けた取組み

①関係人口から移住者を取り込む政策の継続

令和4年度以降、つなぐ課を創設し、観光・交流人口や小学校・保育園留学を入口に西川のファンをつくり、移住につなげた結果、人口の社会減(転入者-転出者)が改善。これを継続すべきです。



▲トップセールスは大切
(越智経済産業政務官)

②働く場所の確保(町と地域をつなぐ地域商社、企業誘致の継続)

働く場所の確保が重要であり、起業・創業が相次ぎました。町内には8社の第三セクター及び地域商社があります。町は、地域商社や町内企業に地方創生の取組を委託することで、雇用を拡大し、町内の資金循環を図っていきたい。トップセールスによる企業誘致も徐々に成果が出てまいりました。4年間で数社の企業が進出、西部地区では小水力発電所の建設が進んでおり、固定資産税の獲得にもつながります。



▲西川町の空き家は冬に注意

③西川らしい子どもたちへの投資は続けるべき

15～19歳は、毎年100名以上が町外へ流出しており、町に戻ってきてもらえる取組みが必要です。

例: 町が高校生のやりたいことを実現「韓国マルシェ」

「帰ってきてけローン」利用者へのきめ細やかな意思疎通

(2) 美しいまま西川を未来に残す取組が重要です。

①本腰を入れた(予算を集中投下する)農業振興

農業は町内総生産の6%を占め、景観や鳥獣被害防止の観点から重要な産業です。しかし、担い手は減少し平均年齢は73歳。米の作付面積は減少していますが、ふるさと納税の主力品目です。このため、米の生産性の向上や農地を集約化するための施設整備に向け、直ちに新たな支援を実施しなければなりません。

②今が分岐点! これまでにない山林を守る取組みへの支援

先人たちが植えて大切に守ってきた人工林は、伐期を迎えており転換点を迎えました。わが町は、林道網は充実しているものの、伐採には10tトラックが通行できる林道を整備する必要があります。このため、林道の拡幅工事は、これまでの町と区が折半する制度から、町が費用の多くを負担する抜本的な支援が必要です。

③空き家対策部署の創設

町内の空き家は156軒(令和3年度時点)と増えてきました。放置空き家の対処として、これまで未実施の町が危険な空き家を撤去する行政代執行や略式代執行に向けて、対策室を設ける段階に入りました。

(3) 町に暮らすには、安心安全なまちづくりも必要不可欠です。

①町立病院の維持

病院は、意識改革やサービス向上に取り組んできた結果、令和6年度決算では収益増となりました。引き続き、サービスを向上させながら、毎年3億円超の病院維持のための財源確保に挑戦すれば存続できます。

②高齢者世帯が多くなることで、除雪・交通・買い物対策の強化

65歳以上の高齢者のみの世帯は730世帯(世帯数の40%)、ひとり暮らし世帯は304世帯(世帯数の16%)。このため、高齢者世帯の見守り活動、デマンドタクシーの充実、除雪対策、買い物対策を進めなくてはなりません。

いきいき健幸人

西川で元気に輝く皆さんを紹介します

ふくしま こういち
福島 廣一さん (海味)

昭和47年から民謡の道に入り、50年以上にわたり歌と向き合ってきた廣一さん。現在は民謡輝秀会の会長を務めるほか、いきいきサークル「唄の教室」の講師として指導にあたり、ミニデイでは民謡ボランティアとしても活動されており、地域や人のために歌の世界へ入り、長年にわたり文化の継承と交流の場づくりに尽力してこられました。

また平成20年からは尺八にも挑戦し、表現の幅をさらに広げてきました。「感謝」をモットーに、「仲間がいるからこそここまで続けてこられた。本当に感謝している」と語る廣一さん。現在は民謡輝秀会の会員を増やすことにも力を注いでおり、「体と声が続く限り、これからも元気に続けていきたい」と笑顔で話してくれました。



▲福島 廣一さん(80歳)

図書館さ、いぐべ〜。

【お問合せ】
西川小学校図書館 ☎0237-85-0077

■ 本屋大賞ノミネート作品展示貸出開始!

今年も本屋大賞の季節がやってきました! 図書館では、本屋大賞ノミネート10作品の他に各文学賞を受賞した作品を展示貸出しています。

今年の本屋大賞ノミネート作品はいつもと違いミステリー作品が多いように感じます。どの作品が大賞になるのか、予想しながら読んでみませんか?

展示期間は3月末頃までの予定です。



■ 図書館出張展示「西川町の町報展」

昨年ご寄贈いただいた町報の一部を交流センターあいべにて展示しています。

昭和47年から平成3年までの町報を閲覧することができます。ほかにも昭和37年3月号と昭和39年4月号のコピーを掲示しています。「西川町の町報展」は4月20日まで予定しておりますので、あいべに行かれた際はぜひご覧ください。

3月のおはなし会

- ・まんまるまんま たんたかたん
- ・うんちっち ・しろくまんのパンツ ほか

3月28日(土曜日) 10時30分から

こうさくも
あるよ!



西川町保健センター

町の保健師・管理栄養士からのお知らせです

まちの保健室 より 【お問合せ】健康福祉課 健康推進係 ☎0237-74-5057



■ より良い睡眠のために〜睡眠休養感を高めよう〜

睡眠で休養がとれている感覚のことを「睡眠休養感」と呼びます。ぐっすり寝た感じがしない、疲れが取れないなどの睡眠休養感が低下してしまうと、心身の健康に影響を及ぼしてしまいます。各世代により、睡眠時間等による影響も変わってきます。日頃の睡眠、振り返ってみませんか。

【高齢者】

長く寝床で過ごす時間は8時間以上にならないことを目安に、必要な睡眠時間を確保しましょう。
→寝床で過ごす時間が長くなることで、身体機能や認知機能の低下等にもつながります。

【成人】

個人差はありますが、睡眠時間は6時間以上を目安にしましょう。
→睡眠時間が極端に短いと、肥満、高血圧、脳血管疾患等の発症リスクを高めることにもつながります。

【こども】

推奨される睡眠時間は1〜2歳児は11〜14時間、3〜5歳は10〜13時間、小学生は9〜12時間、中学・高校生は8〜10時間です。
→睡眠不足になると、肥満のリスクや抑うつ傾向の高まり、学業成績の低下等につながります。

Q 「睡眠休養感」には何が影響する?

→生活習慣が大きく関係し、日中のストレス、就寝間際の夕食や夜食、朝食をとらない、運動不足等が影響します。睡眠のためにも、規則正しい食事を心がけ、運動の機会を持つようにしましょう。

■ やったね!! ★虫歯ゼロのお友達★

2月の3歳児健診の歯科検診で「虫歯ゼロ」だったお子さんの紹介です。



あべ ゆうすけ
▲阿部 優介さん

伊藤真先生の

元気アップ! 運動教室 PART331

今月のテーマ: 「運動前後のケアが大切!

〜ウォームアップとクールダウンについて〜



山形済生病院
健康増進センターめぐみ
健康運動指導士 伊藤 真

運動の効果を高め、安全に行うためには、運動前に行うウォームアップと運動後に行うクールダウンが大切です。ウォームアップとは、体温(筋温)を高めることで筋肉や神経の働きをよくし、体を動きやすい状態に整えることです。軽い全身運動で体を温めた後、使う部位を中心に体をほぐし、10秒程度の静的または動的ストレッチを行いましょう(1時間の運動であれば5〜10分が目安)。

クールダウンとは、心臓に血液が戻りやすい状態(静脈還流)を保ちながら、体を徐々に安静な状態へ戻していくことです。疲労回復を早め、けがや筋肉痛の予防にもつながります。軽い有酸素運動の後、体が温かいうちに15〜30秒の静的ストレッチやマッサージなどで筋肉を緩め、ウォームアップと同程度の時間をかけて少しずつ体を落ち着かせましょう。

西川町では、毎週水曜日の14:00〜15:30に「楽楽運動教室(奇数週)」と「ゆる楽運動教室(偶数週)」を開催しています。正しい運動方法に基づき、安全で効果的な運動を行います。体づくりの機会として、ぜひご利用ください。

参考・引用資料
公益財団法人 健康・体力づくり事業財団 健康づくり
2026.2 P18 運動を安全で効果的に楽しく指導するために必要な集団運動指導技術 ウォームアップとクールダウン

ペットボトルを使って筋トレ! 上半身を鍛えましょう

スタートポジション



お腹に力を入れ、両腕を開き、肘を下げます。(肩甲骨を寄せて下げたイメージ)



10回×
2セット

上げ下げを繰り返します。※下ろす時は、ゆっくり行いましょう。

●注意点
体に痛みを感じたときは、運動を中止してください。呼吸を止めずに行いましょう。

ご紹介した運動についてご不明な点がありましたら、毎週水曜日14時から開催している運動教室にてご確認ください。

TOPICS

今月のまちの情報をお届けします。

災害用車両3台を配備

新しい地方経済・生活環境創生交付金（地域防災緊急整備型）を活用し、災害用車両を配備しました。配備車両は、備蓄品運搬車両（2tトラック）1台、トイレカー2台の計3台です。

備蓄品運搬車両は災害発生時に町民体育館倉庫に集中備蓄している備蓄品を各避難所へ運搬するための車両として配備しており、平時はイベント等での活用を想定しています。

トイレカーは、個室2部屋仕様（洋式便器）・個室1部屋の多機能仕様*をそれぞれ1台配備しており、災害発生時は断水等によってトイレが使えなくなった避難所への配備を想定しています。

今回配備した災害用車両は、令和8年度より地区等の平時利用のための貸出も行う予定です。

※温水洗浄便座、オストメイト便器、おむつ交換台、ベビーキープホルダーが備えられています。



▲配備車両（左からトイレカー2台、備蓄品運搬車両1台）



▲トイレカー
（左2部屋仕様・
右多機能仕様）



▲備蓄品運搬車両
（2tトラックのウイング
開閉・パワーゲート仕様）

スマート農業で拓く啓翁桜の新たな未来

2月20日、「令和7年度日本一の啓翁桜の里・西川 スマート農業成果報告会」が開催されました。報告会には、啓翁桜生産者、JA、連携企業、山形県などの関係者が多数参加し、令和5年度から取り組んだスマート農業技術の導入実証による生産面の省力化やデジタル技術を活用した生育状況の管理の成果が共有されました。

また、ビジネスソリューションパートナーズ合同会社 代表社員 佐々木剛さん（東根市）を講師に「西川町におけるスマート農業導入の手引き」と題した講演も行われ、参加者を代表し、西川町啓翁桜生産組合組合長 金子光弥さん（大井沢）からは、今後のスマート農業導入推進に向けた決意が述べられました。



▲成果報告会の様子

東京・原宿でつる細工の新商品を紹介

西川町山村活性化地域協議会が農林水産省の農山漁村振興交付金を活用し進めてきた、山葡萄つる細工の新商品が完成し、2月5日～10日にTHINK OF THINGS（東京都渋谷区）でお披露目を兼ねたポップアップ展を開催しました。

新商品はつる細工職人の伊東広さん（大井沢）とグラフィックデザイナーユニットの「pinkpepper」がコラボレーションし、約半年かけてモダンなデザインのインナーバッグを合わせた横長フォルムのかごバッグやつる細工のスカーフリングなどを完成させました。

ポップアップ展には500名以上の方が訪れ、これまでのつる細工の購買層とは異なる若い世代の方も伝統的なつる細工の美しさと現代的なデザインの融合に強い関心を示していました。



▲展示されたかごバッグとスカーフリング

子ども達の「やりたい」を形にする「子どもチャレンジ事業」

株式会社アールテック様の寄附金を活用し、子ども達の「やりたい」を形にする「子どもチャレンジ事業」が保育園・小学校・中学校で実施されました。保育園では、紙粘土を使って好きなものを形どった鉛筆立てづくりに挑戦。子どもならではの自由な発想から、個性豊かな作品が次々と生まれました。

小学校では、子どもたち自身が企画した「西川小スポーツフェスタ」を開催。パルクールやトランポリンなど多彩な器具で思いきり体を動かすイベントを全校で楽しみました。中学校では、修学旅行で訪問した(株)Creator's NEXT 窪田望社長の話に感銘を受けた生徒たちが「全学年にもぜひ聞いてほしい」と発案し、講演会が実現。

どの取り組みも、子ども達自身の「やりたい」という想いが原動力になっています。



▲様々なアクティビティを楽しむ西川小児童たち

企業版ふるさと納税寄附企業に感謝状贈呈

◇昌栄電設株式会社（神奈川県川崎市）より企業版ふるさと納税制度を活用したご寄附をいただきました。

3月2日、菅野町長から寺崎専務取締役にご感謝状が贈られました。本町への多大なるご支援に深く感謝申し上げます。

◇活用事業：「AIコンテンツ制作を通じた地域課題解決人材の確保事業」



▲感謝状を受け取る寺崎専務取締役（左）

未来へつなぐ花いっぱい運動

令和7年度は、14団体の皆さまにご協力いただき、町内のさまざまな場所を花で美しく彩っていただきました。花のある景観は、私たちの気持ちを明るくし、心を豊かにしてくれます。ご協力いただいた皆さまに、心より感謝申し上げます。

町の景観をより良くし、町民の皆さまや訪れる方々に気持ちの良い環境をお届けするためにも、引き続き花いっぱい運動へのご参加をお願いいたします。



▲町を彩る花壇（石田町内会）

【令和7年度実施団体】

- ・石田町内会（代表 佐藤健一）
- ・海味公園花壇ちよし隊（代表 吉田和恵）
- ・海味第3町内会花植え会（代表 横山弘志）
- ・海味第4町内会（代表 奥山和茂）
- ・東衆会（代表 荒木忠一）
- ・下堀町内会（代表 古澤義則）
- ・西岩根沢町内会（代表 片倉忠幸）
- ・横岫老人クラブ（代表 佐藤喜代志）
- ・ほっとなる会（代表 松田善行）
- ・あじさい会（代表 松田良広）
- ・一心会（代表 松田良広）
- ・入間地区花咲俱樂部（代表 大泉敬夫）
- ・月岡町内会（代表 宮林良幸）
- ・月山志津温泉若女会（代表 山合めぐみ）

地域おこし協力隊通信

退任のご挨拶

いとろ えりこ
伊東 絵里子さん (海味在住)

暖かい日が続く、春の訪れを肌で感じるようになりました。西川町で暮らし始めてまもなく4回目の春を迎えようとしています。様々なお仕事をさせていただき、子ども達と暮らしていく中でもたくさんの人と知り合うことができました。町民の皆さまにはいつも優しく声をかけていただき本当に嬉しかったです。温かく迎えていただきありがとうございます。

私は退任後も変わらず西川町で暮らし、夫が経営するツキノワ合同会社に籍を置いて間沢の古民家でゲストハウスの運営とカフェの営業をしています。また協力隊活動中に取り組んでいた「まち歩きツアー」「農業体験ツアー」「食体験ツアー」なども企画していきます。

今後の活動は町のオープンチャット等にも掲載していきますので、時々顔を見に来てくれたら嬉しいです。これからもどうぞ宜しくお願いいたします。



東京大学の学生が啓翁桜の作業を体験しました！

東京大学の学生5名が、大学主催の「体験活動プログラム」の一環として、西川町を訪れ、啓翁桜の出荷作業等を体験しました！

学生たちは、啓翁桜の収穫から出荷までの流れについて、啓翁桜生産組合の金子会長から説明を受け、実際に出荷作業も体験しました。

学生からは、啓翁桜を始めとした西川の名産品にまつわるストーリーをよりPRすることでファンを増やしていくことや、町内での啓翁桜の更なる利活用など、今後の啓翁桜についての提言もいただきました。

また、自然と匠館やトラヤワイナリーなども訪問し、町内の伝統や産業にも触れ、西川町に対する理解を深めました。

町としては、こうした学生活動についても積極的に受け入れ、西川ファンの獲得を進める考えです。



▲金子組合長から説明を受ける学生

晴天のもと、全力滑走！

2月14日、町民スキー場にて「JONDAZNE Ski Championship」が開催されました。当日は青空が広がる晴天に恵まれ、子どもから一般の方まで多くの参加者が集まりました。参加者はそれぞれ自分で決めたスタート位置から滑り出し、思い思いの滑りでゴールを目指しました。会場には家族や地域の方々から温かい声援が送られ、参加者はその声に後押しされながら力いっぱい滑り、全力でフィニッシュしました。完走した証として、前田教育長と林校長先生から首に西山杉で作成した特製メダルがかけられ、達成感あふれる笑顔が広がりました。



▲軽快に滑走する参加者

TOPICS

今月のまちの情報をお届けします。

囲炉裏を囲んで、むかし語りのひととき

2月22日、大井沢自然と匠館にて「むかし語りとろばた焼き」が開催され、当日は35名を超える参加者が訪れました。

会場では囲炉裏を囲み、むかし語りの会の皆さんによる懐かしい語りに耳を傾けながら、香ばしく焼き上げた田楽などを味わい、心温まるひとときを過ごしました。

さらに、かるた取りでは真剣勝負が繰り広げられ、会場は笑顔と声援に包まれました。地域の文化や人のつながりを感じられる思い出深い一日となりました。



▲囲炉裏を囲み、むかし語りを聞く参加者

地域おこし協力隊活動報告会へのご来場ありがとうございました！

3月7日、にしかわイノベーションハブTRASにて、町の活性化や情報発信に取り組む“地域おこし協力隊”が1年間の活動を振り返り、日頃支えてくださる皆さまへ感謝を込めた報告会を開催しました。

現在、町では13名の隊員が活動しており、町民の方や参加者の皆さんに直接感謝を伝えたいという隊員たちの思いから、今年も交流会形式での開催となりました。

当日は70名を超える方にご来場いただき、参加者からは「直接話ができ報告会に参加して良かった。」といった声が聞かれました。

実行委員の福島純隊員は「私たち移住者が活動できるのは、町民の皆さまがあたたかく見守ってくださっているおかげです。日々感謝の気持ちでいっぱいです。」と感謝を述べました。



▲たくさんの方にご来場いただきました

おたすけ隊活動中！

～町のお困り事を手伝います～

【活動内容】

- 町民：除雪(家の周り、車庫、屋根下)、薪運び
- 地域活動：いってみっぺ手伝い
- 月山トラヤワイナリー：瓶拭き、カゴ洗浄
- 月山じょいふるふぁーむ：ペレット袋詰め作業
- 月山志津温泉雪旅籠の灯り実行委員会：旅籠の除雪と灯り点灯作業、パンフレット準備
- 西川町役場：雪上バレーボール大会スタッフ、スノーランド運営補助、ミニデイ参加、びんしゃん広場での交流

11期：2月6日～2月26日（7人）



▲雪旅籠のメンテナンス作業

【お問合せ】 ☎0237-74-2100 担当：堀・磯合

郵便局ミニ対話会 ご意見・要望における回答

参加者 居住地域	ご意見等	回答
大井沢	気軽に集まって交流できる場所が欲しい。階段がなく、お年寄りでも利用しやすい場所で、常に誰かがいて立寄りやすい環境が望ましい。他の地区では町の補助金を活用したサロンが設置されたと聞いており、大井沢地区でも同様の場を整備してほしい。退職後は人との交流や外出の機会が減ってしまうことを心配する声もあり、集まって話をしたり、新しい趣味や地域の役割を見つけられる場所が必要と思う。	現在町内7カ所にある高齢者サロン「いきいきお茶のみ会」は、町民主体で立ち上げる自主的な活動となっています。ミニデイと異なり、週1回以上定期開催するものを高齢者サロンとしています。お住まいの地域で新たに高齢者サロンの立ち上げをご検討の際は、健康福祉課へご相談ください。ご意見のとおり、人との定期的な交流は、社会参加や生きがいづくり、認知症予防となるほか、地域における見守りにもつながります。大井沢地区では現在、高齢者の通いの場として「ミニデイサービス」の定期開催に加え、大井沢温泉館で毎月2回、町の介護予防教室「大井沢ほがらか教室」も開催しています。教室への参加希望の際は、健康福祉課へお申し込みください。 ☎0237-74-4405【健康福祉課地域包括支援センター係】

【お問合せ】 つなぐ課町民つなぐ係 ☎0237-74-2112

～おめでとうございます～
Congratulations! それぞれの道で輝く皆さんの功績を称え、ご紹介いたします。

**郷土への理解を深める自作の教材
 山形県自作視聴覚教材コンクールで3名が受賞**

山形県自作視聴覚教材コンクールは、郷土の自然や歴史、伝統文化、先人の業績などに対する理解を深め、学びに資する視聴覚教材（映像教材・オンライン教材・紙しばいなど）の制作を奨励するため、県教育委員会によって、毎年開催されています。

同コンクールにおいて、本町からは3名の方が受賞されました。おめでとうございます。

令和7年度第74回自作視聴覚教材コンクール社会教育部門

最優秀賞：映像

「わが道～山伏 本間龍演～」
しばた もとじ
 / 柴田元二さん（海味）

優秀賞：紙しばい

「詩人がうたった岩根沢 詩人 丸山 薫」
あらかき さきこ
 / 荒木咲子さん（綱取）

入選：紙しばい

「まるちゃんたちとくま吉」
おくやま たえこ
 / 奥山妙子さん（海味）

▶ 右から
 荒木咲子さん
 奥山妙子さん



▲柴田元二さんの映像作品



故・奥山 繁 氏に「正六位 瑞宝双光章」

長年にわたり教育活動にご尽力され、昨年12月にご逝去された奥山 繁氏（海味）が、このたび「正六位*1 瑞宝双光章*2」を受章されました。

奥山氏は、平成9年から8年間、沼山小・川土居小・西山小学校の校長として学校教育に貢献、退職後の平成20年10月から21年12月には、西川町教育委員・教育委員長として教育振興に寄与されるなど、町教育の発展に大きく貢献されました。

こうしたご功績が認められ、「正六位 瑞宝双光章」が授与され、3月2日に山形県村山教育事務所長より、ご遺族へ勲記と勲章が伝達されました。

用語説明：*1 正六位とは、国家に対して顕著な功労のあった方に授与される位階

*2 瑞宝双光章とは公務などに長年従事し、特に顕著な成績を挙げた方に授与される勲章



▲ご遺族に勲記を伝達

陵西中・西川中クラブが県大会優勝！西川JVC選手が躍動

1月17日、18日に開催された「第16回山形県小学生バレーボールクラブ大会」において、女子の部に出場した陵西中・西川中クラブが見事優勝を果たしました。決勝の酒田三中クラブとの一戦は、互いに譲らぬ熱戦となり、フルセットにもつれ込む接戦となりましたが、最後まで粘り強く戦い抜き、栄冠をつかみ取りました。

西川JVCからは、菅野菜々子さん、松田あかりさん、設楽乃愛さん、日塔愛珠さんの4名が出場し、日頃の練習の成果を存分に発揮しました。



▲優勝した陵西中・西川中クラブの皆さん

にしかわ 保育園

わいわいひろば

保育の理念
★子どもに愛と生きる力を

保育目標
★雪のようにきらきら輝く子 ★太陽のようにつよくたくましい子
★緑のようにやさしくあつたかい子

大切にしていること
★しっかり見つめること ★ぎゅっとハグすること
★自分の興味を満喫させてあそぶこと ★思いっきりカラダを動かすこと
★大人みんなで精一杯愛すること ★大人も育つこと

保 育 園

おはなしぴーつくさんの楽しいお話

2月10日、保育園の誕生会に、おはなしぴーつくさんが来てくださいました。手袋人形での「鬼のパンツ」や「おにたいじ」の絵本、大型絵本「地球のためにできる10のこと」、パネルシアター「ねこのおいしゃさん」、大型紙芝居「北風と太陽」、エプロンシアター「はなさかじいさん」など、様々な形で繰り広げられるお話の世界に、子ども達の表情もくるくる変わり面白かったです。楽しいお話をありがとうございます。



▲お話の世界に引き込まれる子どもたち

みんな仲良くひなまつり

3月3日、園でひなまつりを行いました。先生から大型紙芝居「おひなさまになったにんぎょう」の読み聞かせしてもらい、いつもの絵本とはひと味違う迫力に子どもたちは物語の世界に引き込まれていました。読み聞かせの後には、お雛様とお内裏様に向けて歌のプレゼント。元気な歌声がぶなの森広場いっぱいに広がりました。さらに、ひなまつりにまつわるクイズにも挑戦し、子どもたちは楽しみながら行事への理解を深めました。最後は年少から年長までみんなで輪になり、雛あられとジュースを味わいながら、笑顔いっぱい過ごしました。春の訪れを感じる、心温まるひなまつりとなりました。



▲元気いっぱい手をあげます！



子育て支援センター

ひなまつり つくるべえの日

3月3日、ひな祭りつくるべえを行いました。親子でお雛様の製作を楽しみ、かわいらしいお雛様が完成しました。製作のあとはみんなでお茶会をし、おしゃべりをしながら和やかな時間を過ごし、笑顔あふれるひとときとなりました。



▲じょうずに作れたよ！

名水サミット 開催記念 町の水、町の暮らし

【月山夏スキー】

「月山山麓湧水群」は、月山に降り積もった雪が長い年月を経て、湧き出したものです。月山の雪は冬のアクティビティを支えるだけでなく、全国でも希少な夏スキーという特別な体験を生み出し、多くの人々を惹きつけてきました。

夏でも残る雪渓は、町を訪れる観光客やスキーヤーにここでしか味わえない魅力をもたらし、夏のゲレンデで感じる涼しさや雪の感触は、名水の清らかさそのものとして私たちに自然の恵みの尊さを伝えてくれます。こうした雪と水の循環を体感できる環境こそが、西川町の大きな財産ではないでしょうか。

令和7年度月山夏スキーには98,323人も皆さまからご利用いただき、大いに賑わいました。令和8年度のオープンは4月10日(金)となりますので、ぜひ多くの方に足をお運びいただきたいと思います。



▲月山夏スキー

9/25
開催



▲「名水サミット in にしかわ」ホームページの二次元コード

今月の表紙



今月号の表紙は大井沢自然と匠館にて開催された「むかし語りとりばた焼き」での写真です。

囲炉裏を囲んで語らう様子は西川町のあたたかさそのものでした。

4/10_(金)

月山スキー場 オープン

7月上旬までの営業予定
(積雪の状況で変更あり)

月山観光開発(株) HP▲

令和7年度西川町芸術文化協議会表彰におきまして、当方の確認ミスのため表彰されるべき方が漏れておりました。心よりお詫び申し上げます。今後、このようなことがないよう情報収集に努め、対策を講じてまいります。

なお、西川町芸術文化協議会表彰規定の表彰基準は以下のとおりです。過年度に遡り、該当したにもかかわらず表彰から漏れていた方がいらっしゃいましたら、大変お手数をおかけいたしますが、下記問合せ先までご連絡ください。

- 【表彰基準】**
- ・全県民以上を対象にするコンクール等で最高賞を受けた個人及び団体
※年度後半など受賞時期によっては、次年度の表彰となる場合があります。
 - ・芸術文化の普及振興に多大の業績をあげ、その功労の顕著な個人及び団体
 - ・芸術、文化の普及振興に物心両面にわたり尽力され、感謝の意を表したい個人及び団体
- (お問合せ) 西川町芸術文化協議会 事務局 (西川交流センターあいべ内) ☎0237-74-3131

編集雑記

西川町に住み始めて、気がつけば1年がたとうとしています。豊かな自然と、人のあたたかさに支えられながら、この町で過ごす日々がとても大切なものになりました。町民の皆さまにもあたたかく迎えていただき、本当にありがとうございます。今後ともよろしくお願いいたします。(三瓶)

西川町HP

X

LINE

Instagram

3/1	現在の人口と世帯数	人口	男	2,130人	女	2,227人	計	4,357人	世帯数	1,770
	()は前月比			(-1)		(-6)		(-7)		(-1)